





令和3年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	令和3年度 SSH 理数科サイエンスコース 課題研究発表会
期 日	令和3年4月16日（金）13時～16時30分
会 場	長岡ニューオータニホテル NC ホール
対 象	本校理数科3年42名、2年43名、1年80名合計165名の生徒
目 的	科学及び数学に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技能の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年同様、新型コロナウイルス対応のため会場には本校生徒・職員のみでの参加であったが、今年度はオンラインで長岡技術科学大学の6名の先生方に参加していただいた。 ・ 本校理数科3年サイエンスコース生徒（全13グループ）が課題研究の内容と成果、今後の展望を発表し、その後、質疑応答、長岡技術科学大学の先生からの講評という内容で行った。 （口頭発表のみでポスターは長岡高校に掲示）。 ・ 1、2年生は研究発表を聞き、質問することで、自分達の研究課題を発見する機会を得た。
	
オンラインでの講評の様子	口頭発表の様子
	
口頭発表の様子	口頭発表の様子

アンケート
評価

このような取り組みによって、自分にどのような力が
ついたと思いますか。(42名回答、自己評価のべ人数を表示)

		自己評価集計(人)
1	物事に対する好奇心もつ力	8
2	自ら意欲的にものごとを考える力	7
3	課題を見つける力	8
4	ものごとを探求する力	7
5	問題を解決する力	3
6	論理的に思考する力	8
7	ものごとを観察・洞察する力	7
8	創造性や独創性	6
9	特定の領域における知識力と常識力	5
10	知識や常識を応用する力	2
11	パソコン等情報機器を活用する能力	10
12	チームワークを活用する力	9
13	リーダーシップを発揮する力	2
14	目的に応じたコミュニケーションができる力	7
15	プレゼンテーション能力・表現力	13
16	レポート作成能力	7

自分の研究や発表を客観的に5段階評価してください。

		評価の平均
1	自主的・意欲的に取り組んだか	4.1
2	課題を見つけ、探求し、問題を解決したか	3.9
3	じっくりと観察・洞察をし、論理的に考えたか	3.9
4	テーマ設定や実験・実習の手法に独創性があったか	4.0
5	テーマに関する知識や常識が十分に身についたか	4.0
6	発表がわかりやすく、プレゼンテーションが的確であったか	4.0

感想など	<ul style="list-style-type: none">• 先生と一緒にテーマを追求するのは初めての経験だったので楽しかった。• 同じ実験をこんなに何度も繰り返し行うことは今までの人生の中で無かったので、上手くいかなくて嫌になったり飽きたりすることもあったけど楽しかった。• 課題研究をやることでパワーポイントを作る能力が身につきました• 計画的に実験を行うことができなかつたのは落ち度だけれど、誰か、自分たちの研究を受け継いでくれる人がいたらとても嬉しい。• 1年次から課題研究を続け、その間積み重ねてきたデータや思考を存分に出し切ることができて本当に良かった。長期休みや放課後に残って実験を行うことも多く大変だったが、発表で用いるエクセルやパワーポイントを協力して作り上げることで、入学時に比べ格段に技術力が高まったと思う。• 見る人からしたらたいした内容ではなかつたかもしれないが、自分たちの中で協力し、一つずつ進めていく中で求めているデータが出たとき、データの信憑性が確かめることができたことはとても嬉しかった。• テーマ設定にすごく時間がかかったり、中間発表で色々指摘されたり、結果が予想と全然違ったりと、課題研究に取り組んだ時間はとても良い思い出となり、将来にも貴重な体験となったと思います。• 数年後、社会に出ればチームで何かをするということは増えると思う。課題研究はその予行演習として、少なくとも、自分にとってはよいものにできたと思う。
------	---